

2023年11月6日

株式会社 G i n c o  
三菱 UFJ 信託銀行株式会社  
P r o g m a t , I n c .  
Cumberland Global Limited  
ビットバンク株式会社  
株式会社メルコイン

## Ginco と三菱 UFJ 信託銀行および Progmatt の協業による 暗号資産業界横断ステーブルコイン「XJPY」「XUSD」の共同検討開始について

株式会社 Ginco（代表取締役: 森川 夢佑斗、以下 Ginco）、三菱 UFJ 信託銀行株式会社（取締役社長: 長島 巖、以下三菱 UFJ 信託銀行）、Progmatt, Inc.（代表取締役: 齊藤 達哉、以下 Progmatt）は、日本法に準拠したステーブルコイン（略称 SC）の発行・管理基盤である「Progmatt Coin（プログラマコイン）」基盤を活用し、暗号資産交換業者間の資金決済効率向上を目的とした“暗号資産業界横断ステーブルコイン”の発行に向けた共同検討（以下、本共同検討）を開始いたしました。

本共同検討を通じて、暗号資産業界におけるクロスボーダー取引の決済効率向上を目指した円貨建ての「XJPY」と米ドル建ての「XUSD」の2銘柄のステーブルコイン発行を行います。

同時に、最大手の暗号資産リクイディティ・プロバイダーである Cumberland Global Limited（Global Head of Cumberland, Partner at DRW: Chris Zuehlke、以下 Cumberland）、国内暗号資産交換業者のうちビットバンク株式会社（代表取締役 CEO: 廣末 紀之、以下ビットバンク）、株式会社メルコイン（代表取締役 CEO: 中村 奎太、以下メルコイン）が本共同検討に先行して参画します。



## 1. 背景と目的

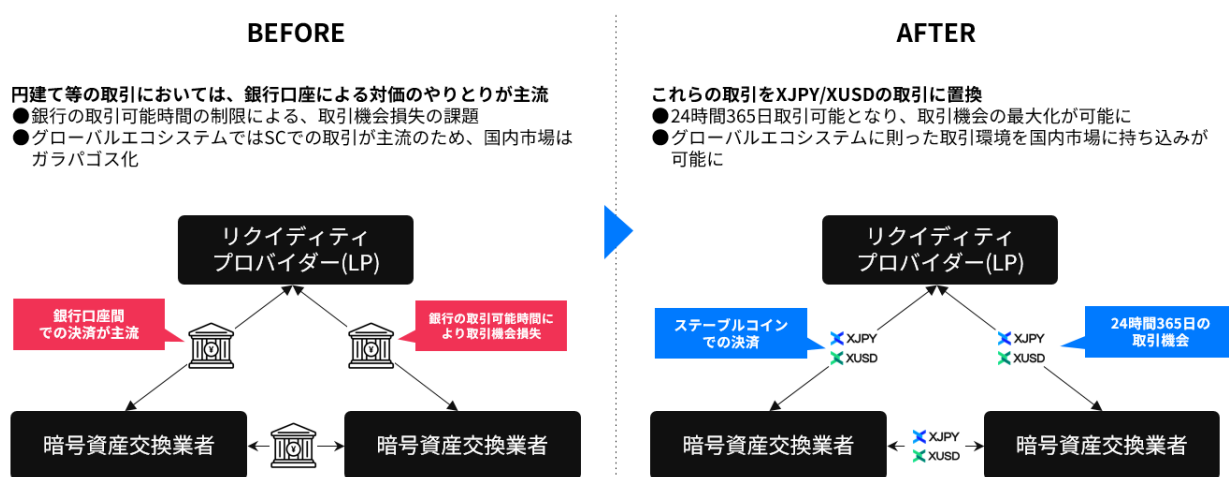
Ginco では、Web3 産業の発展には、法人・個人を問わず誰もが安心安全にデジタルアセットを利用できる環境を整備する必要があるとの課題認識のもと、デジタルアセットの管理用ウォレットや企業向けの Web3 インフラサービスを提供してきました。特に暗号資産交換業者など金融機関が利用する業務用暗号資産ウォレット「Ginco Enterprise Wallet」は国内トップの導入シェアを誇ります（2023 年 Ginco 調べ）。

三菱 UFJ 信託銀行および Progmatic は、2023 年 6 月施行の改正資金決済法に即した形でステーブルコインを発行するためのインフラとして、「Progmatic Coin」基盤の開発を主導しています。「Progmatic Coin」基盤を用いた様々なブランドのステーブルコインは、取り扱う仲介業者が関係当局へのライセンス登録を完了し次第、発行・流通が可能になる予定です。

グローバルの暗号資産市場における暗号資産交換業者やリクイディティ・プロバイダー（以下、暗号資産関連業者）間における自己勘定取引の資金決済は、ステーブルコインでの取引が主流の中、日本の事業者を含む暗号資産市場においては未だ銀行送金での資金決済が主流となっています。近年、これらの暗号資産関連業者間の資金決済用途での銀行送金は、日本円の取引だけを見ても月間数千億円に及んでおり、今後も拡大していくことが見込まれます。

銀行送金での資金決済の課題としては、取引時間の制約や送金コスト等の課題が挙げられますが、この課題が、暗号資産市場発展の妨げになるのではないかという考えから、本共同検討が発足いたしました。

本共同検討では、Ginco と三菱 UFJ 信託銀行および Progmatic の協業により、「Progmatic Coin」基盤を用いたステーブルコインブランドの 1 つとして、24 時間 365 日取引可能なパブリックチェーン上のステーブルコイン「XJPY」「XUSD」を発行し、日本の事業者を含む暗号資産市場における、数千億円に及ぶ現取引業務を SC に置き換えることで、暗号資産関連業者間取引の課題を解決し、資金決済効率向上による暗号資産市場の高度化に寄与することを目的としています。



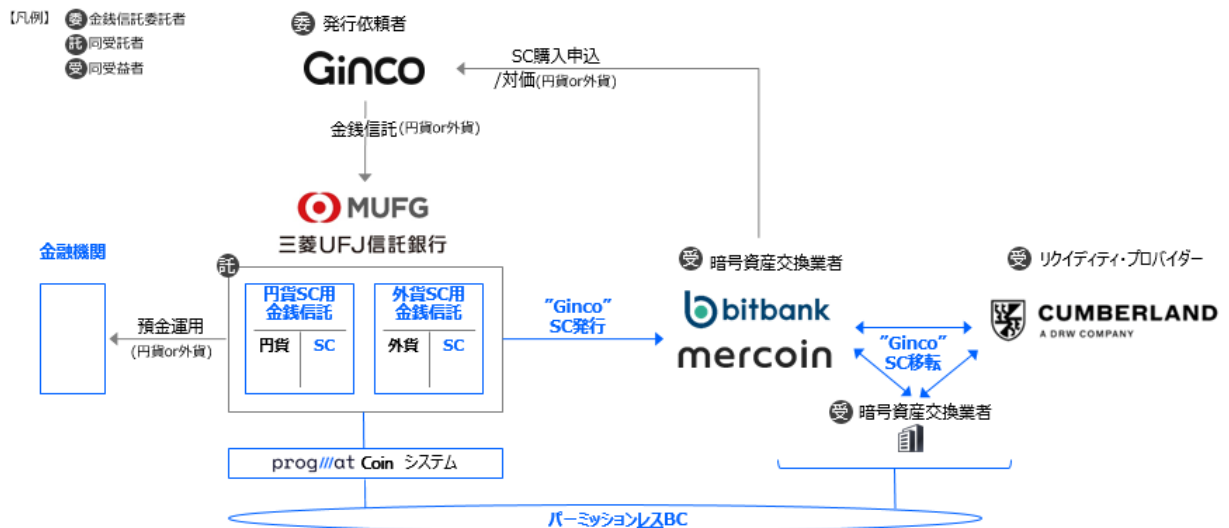
## 2. 具体的な発行スキームの全体像

2023年6月施行の改正資金決済法上、ステーブルコイン（電子決済手段）として、「銀行預金型」・「資金移動型」・「信託型」の3類型が想定されていますが、以下のような特徴があるため、現時点で最も柔軟な設計が可能な「信託型」でのステーブルコイン組成を前提<sup>[1]</sup>としています。

	銀行預金型“電子マネー”	資金移動型ステーブルコイン	信託型ステーブルコイン
発行希望者のライセンス制約	銀行業免許取得要	資金移動業登録要	ライセンス不要 (信託委託者への業規制無し、 資産管理周りは信託銀行で分担)
送金先制約	KYC済アドレス以外送金不可	KYC未済アドレス含めて送金可？(不明確)	KYC未済アドレス含めて送金可(法的整理済)
送金金額制約	制約なし	送金金額制約有り 100万円/回	制約なし

具体的なスキームとして、以下のように想定しています。

- 【電子決済手段類型】 3号電子決済手段（特定信託受益権）
- 【発行依頼者（委託者）】 Ginco
- 【発行者（受託者）】 三菱UFJ信託銀行
- 【プラットフォーム】 Progmatic Coin
- 【利用者（受益者）】 暗号資産関連業者（自己勘定）
- 【裏付資産（預金）運用先】 任意の金融機関
- 【裏付通貨種類】 円建てステーブルコイン、及び米ドル建てステーブルコイン
- 【ステーブルコイン名称】 「XJPY（円建て）」及び「XUSD（米ドル建て）」



### 3. 今後の予定

「XJPY」「XUSD」は、2024年夏頃に発行することを目指します。

また、「利用者（受益者）」となりえる暗号資産関連業者を特段制限するものではなく、本共同検討に賛同いただける国内外の暗号資産関連業者からの参画申込を随時受付いたします。

（「デジタルアセット共創コンソーシアム（DCC）」事務局で受付）

デジタルアセット共創コンソーシアム： [progmatt\\_post@progmatt.co.jp](mailto:progmatt_post@progmatt.co.jp)

以 上

- [1] ステ이블コインのスキーム選択に関する解説は以下をご参照  
解 説 記 事：<[https://note.com/tatsu\\_s123/n/n1f7f6df36752](https://note.com/tatsu_s123/n/n1f7f6df36752)>

<別紙>

1. 各社の役割・概要

(1) 発行依頼者（委託者）

商 号： 株式会社 Ginco  
代 表 者： 森川 夢佑斗  
U R L： <https://www.ginco.co.jp/>

(2) 発行者（受託者）

商 号： 三菱 UFJ 信託銀行株式会社  
代 表 者： 取締役社長 長島 巖  
U R L： <https://www.tr.mufg.jp/>

(3) プラットフォーム「Progmatic Coin」開発者

商 号： Progmatic, Inc.（株式会社 Progmatic）  
代 表 者： 代表取締役 Founder and CEO 齊藤 達哉  
U R L： <https://progmatic.co.jp/index.html>

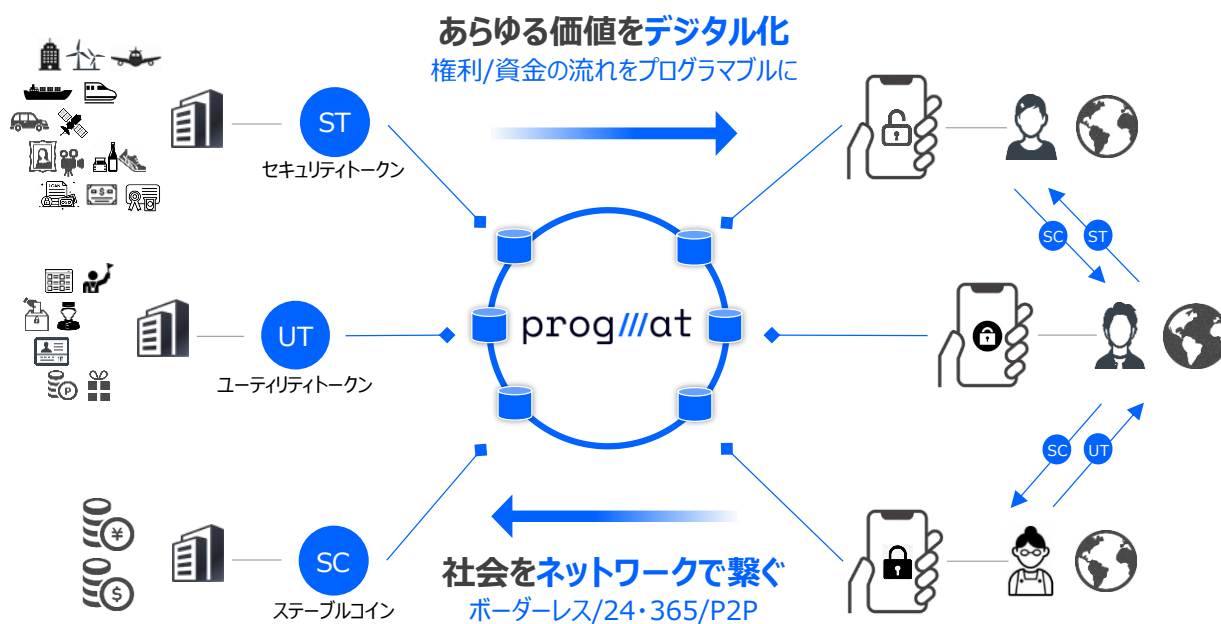
—

◆ 「Progmatic（プログマ）」について

Web サイトおよび解説記事を公開しておりますので、以下 URL からご覧ください。

Web サイト：<<https://progmatic.co.jp/index.html>>

解 説 記 事：<[https://note.com/tatsu\\_s123/n/n03a291fa52ad?sub\\_rt=share\\_b](https://note.com/tatsu_s123/n/n03a291fa52ad?sub_rt=share_b)>



◆ 「Progrmat Coin (プログラマコイン)」 基盤について

「Progrmat Coin」 基盤は様々な SC を発行・管理するためのインフラです。

資料を公開しておりますので、以下 URL からご覧ください。

資料 : <<https://speakerdeck.com/progrmat/sc>>

